

製品特徴 RS-SG61/RS-SG61mk2共通

- 920MHz帯 (ARIB STD-T108準拠) ワイヤレス通信を使用したシリアル通信インターフェイス。
- WindowsPC側にUSB dongle、RS-232Cデバイス側にシリアルアダプターとACアダプターを接続することにより、シリアル通信を無線化することが可能です。(見通し250m程度)
- WindowsPCからはCOMxとして認識されるため、COMポートに対応するほとんどの既存アプリケーションがそのままご利用いただけます。
- シリアルの通信状態やSubGigaのステータスを示すLEDを搭載。
※通信状況を示すユーティリティを提供。通知領域に表示されるアイコンから判別可能。
※DTR/DSR, DCD, RIの機能はご利用いただけません。



SubGiga RS-232C 変換アダプター

RS-SG61

本製品は日本国内仕様です。

標準価格：¥52,800 (税別) JAN：4949090670082

対応 OS Windows 11、10、8.1、7
※32ビット・64ビット両対応

製品内容 RS-SG61本体、
USB dongle、ACアダプター



RS-SG61とRS-SG61mk2では互換性はありません。



SubGiga RS-232C 変換アダプター 複数台対応

RS-SG61mk2

本製品は日本国内仕様です。

標準価格：¥63,800 (税別) JAN：4949090670617

対応 OS Windows 11、10、8.1
※32ビット・64ビット両対応

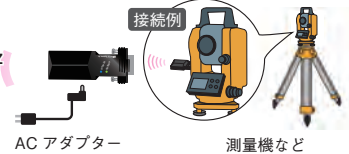
製品内容 RS-SG61mk2本体×2、
USB dongle、ACアダプター×2



RS-SG61



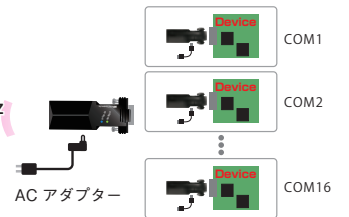
SubGiga 920MHz
見通し約 250m



RS-SG61mk2

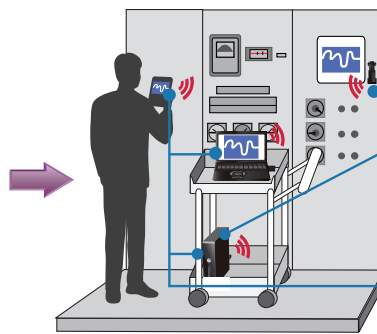
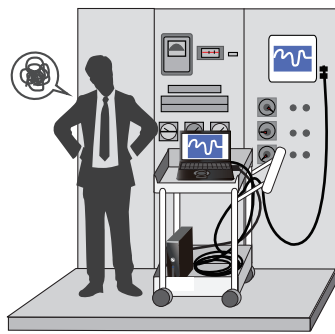


SubGiga 920MHz
見通し約 250m



屋内外問わず、無線で通信・制御可能

使用例 (RS-BT62/RS-SG61/REX-WF60)



RS-BT62
RS-SG61
REX-WF60を導入

ケーブルの配線が困難な配置にも
ケーブルレスで簡単接続。

一台のホストPCと複数台のシリアル
デバイス間で同時接続が可能。

BluetoothやWi-Fiのインフラストラ
クチャーモードなどを使用すること
により、複数のホストPCから一台の
シリアルデバイスを制御することが
可能。(複数のホストPCから同時接続
することは出来ません。)



RS-BT62
RS-SG61
REX-WF60を導入

防塵や温度管理が必要な環境でも
ケーブルレスなので接続が容易。

離れた場所にあるシリアル通信機器の制御・管理に適します。
これまでのRS-232C機器の資産を活かすつ、シリアルイン
ターフェイスを持たないPCやタブレットと接続可能です。
ショールームや接客スペースなど、ケーブル配線が制限される
環境においても最適です。

▲注意：正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずマニュアルをよくお読みください。
●本製品は国内仕様となっており、海外での保守およびサポートについては行っていません。●記載されている名称・商品名は各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には“R”および“TM”マークは明記していません。
●予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。●表示価格には消費税は含まれていません。●“REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。
●資料のご請求、お問い合わせは

RATOC Systems, Inc.
ラトックシステム株式会社 システムソリューション事業部
ラトックシステム株式会社URL <http://www.ratocsystems.com/>

〒550-0015
大阪市西区南堀江1-18-4 OsakaMetro南堀江ビル8F TEL.06-7670-5058 (代)

※最新情報は弊社HPをご覧ください。

開発者支援サイト ラトックe2eストア



※本カタログの情報は2023年10月現在のものです。

Wi-Fi

Bluetooth SubGiga

リニューアル

RS-BT62/BT62HID/BT62M/BT62CR

RS-SG61/RS-SG61mk2

REX-WF60

既存のシリアル(RS-232C)機器に本製品を装着するだけでWi-Fi経由による無線通信、制御、アクセスを行うことが可能となります。既設のネットワーク機器を介してシリアル機器へのアクセスが可能。遠隔地にあるシリアル機器へアクセスすることが可能となります。



シリアルデバイスのD-Sub9Pinコネクタに装着



シリアルデバイス用 Wi-Fi アダプター

REX-WF60

標準価格：¥28,000 (税別) JAN：4949090600317

対応 OS
iOS
Android
Windows 11、10、8.1、8、7、Vista、XP(SP3)
※32ビット・64ビット両対応

製品内容
REX-WF60 本体
AC アダプター

製品特徴

- IEEE802.11b/g準拠。(2.4GHz) 伝送距離は約100m程度。WEP-128、WPA-PSK(TKIP)、WPA2PSK(AES)認証対応。
- REX-WF60がアクセスポイントのように認識される【アクセスポイントモード】とREX-WF60がアクセスポイントに接続する【インフラストラクチャーモード】をサポート。
- 本製品を接続したシリアルデバイスをCOMポートデバイスとして認識させる。【RATOC - VSP】をダウンロード提供。既存のシリアル機器用アプリケーションがそのまま使用可能。(すべての既存アプリケーションをサポートするものではありません。)
- SocketAPIのサンプルアプリケーション、ソースコードを提供。(iOS、Android、Windows用) COMポートを使用したサンプル、ソースコードも提供。
- インフラストラクチャーモードを使用することにより、ルーター、VPN経由でシリアル機器にアクセス可能。遠隔地にあるシリアル機器の制御や情報収集が可能となります。
- CTS/RTSを使用したハードウェアフロー制御をサポート。
※DTR/DSR、DCD、RI信号はご使用いただけません。

※モデム等通信制御に DTR/DSR 信号を使用するデバイスではご使用いただけません。

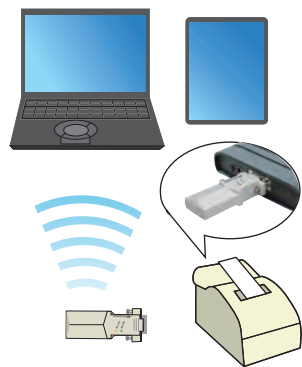


ACCESS : RS-232Cの通信状態を示します。RS-232Cのデータ送受信時に点滅します。

STATUS : Wi-Fiのステータスを示します。接続、未接続の状態により点滅、点灯します。

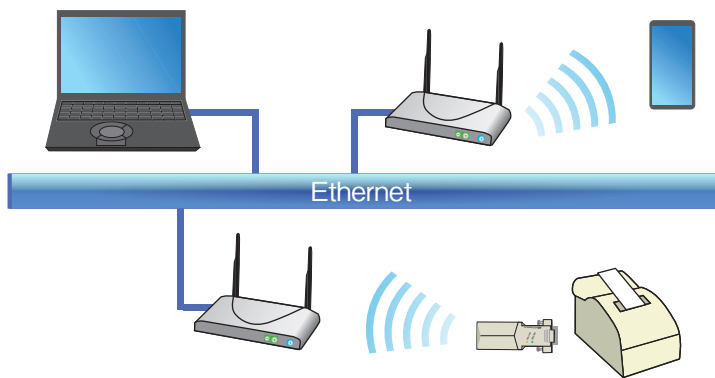
アクセスポイントモード

ホストPCからREX-WF60がアクセスポイントのように認識される



インフラストラクチャーモード

REX-WF60がアクセスポイントに接続するモード。ホストPCは既存のネットワーク機器経由でREX-WF60にアクセスを行う。



選択可能な駆動電源



◀ マークのある製品は下記3通りの駆動電源に対応しています。



D-Sub9番を電源ピンとして使用します。接続デバイス側の仕様をよくご確認ください。



Device

[1] 通常モード
本製品と接続デバイスが、それぞれの電源で駆動。



Device

[2] デバイスに供給
本製品から接続デバイスに対し、駆動電源を供給することが可能。(MAX5V)



Device

[3] デバイスから入力
本製品の駆動電源を接続デバイスから供給することが可能。(MAX5V、RS-BT62シリーズはMAX12V)

REX-BT60 後継機

RS-BT62 シリーズ共通仕様

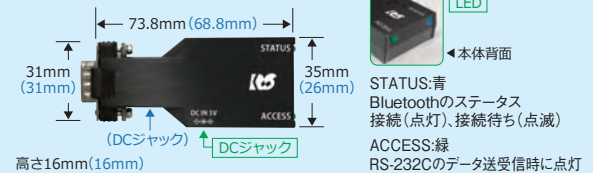
- Bluetooth Version4.2 BR/EDR準拠。
Class2対応。約10m(見通し)の距離で通信が可能。
- シリアル通信速度1,200bps~230,400bpsをサポート。
Dip-SWにより9,600bps固定モードにも設定可能。
- CTS/RTSを使用したハードウェアフロー制御をサポート。
※DTR/DSR、DCD、RI信号は未サポート。
- 駆動電源はACアダプター(標準添付)の他、D-SUB9番ピンを介して受給可能。(5V~12V)
(従来品のREX-BT60は5Vのみ対応)
- ACアダプター使用時、D-SUB9番ピンを介して外部デバイスへ供給可能。(5V)
※公衆回線モデム等、通信制御にDTR/DSRを使用するRS-232Cデバイスでは
ご使用いただけません。



REX-BT60シリーズとの外観比較

筐体サイズとDCジャックの位置を変更しました。

※()内はREX-BT60



シリアルデバイスのD-Sub9Pinコネクタに装着



シリアルデバイス用 Bluetooth アダプター

RS-BT62

標準価格：¥27,800 (税別)

JAN：4949090600669

対応 OS Android Windows 11,10 ※32ビット・64ビット両対応

製品内容 RS-BT62 本体 ACアダプター

製品特徴

- Android 10以降に対応。
標準のBluetooth設定メニューを使用して、本製品とタブレットをリンクさせます。
- Android用アプリケーションも充実。シリアル通信パラメーターの設定ツールや、簡易ターミナル、ソースファイルもWebからダウンロード可能。
- Windows対応。本製品を接続したシリアルデバイスをCOMポートデバイスとして認識。既存のシリアル機器用アプリケーションがそのまま使用可能。(すべての既存アプリケーションをサポートするものではありません。)
- Windows用アプリケーションを添付。
シリアル通信パラメーターの設定ツール、簡易ターミナルソフトウェアなどをダウンロード提供。COMポート、SocketAPIそれぞれのソースファイルも提供。
- 1台の端末から、複数台のRS-BT62に接続、通信が可能。
(※端末側の仕様により同時接続台数が異なります。)

1対1接続

WindowsPCの場合、自動的にCOMポートデバイスとして認識される。



1対n接続

1台の端末から最大7台までのRS-BT62と同時接続が可能。
※同時接続台数は使用するOSやBluetoothスタックにより異なります。



メスネジ金具取り外し可能



Bluetooth RS-232C 変換アダプターケーブルリプレースメントセット

RS-BT62CR

標準価格：¥54,800 (税別)

JAN：4949090600683

※本製品の設定変更をする場合はWindows 11/10 PCでの作業が必要です。

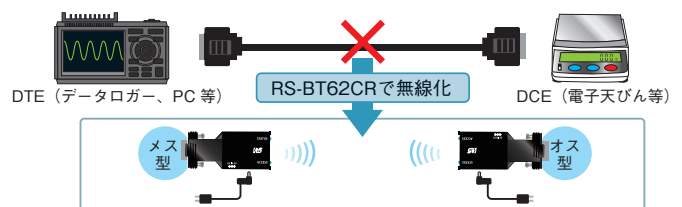
製品内容 RS-BT62 本体 RS-BT62M 本体 ACアダプター×2、メスネジ金具×2

製品特徴

- D-SUBオス型9pinを実装したRS-BT62(通常品)と同メス型を実装したRS-BT62Mのセットモデル。
- シリアルケーブルを使用したRS-232Cシステムを、Bluetooth経由の無線システムに置き換えることが可能となります。
- RS-BT62の電源を投入すると、自動的にRS-BT62間のリンクがおこなわれます。
- RS-BT62の動作モード(マスターorスレープ)やマスター・スレープのペアリング設定、シリアル通信モードを設定可能。
- ペアリングの再設定やシリアル通信条件の設定をおこなう専用アプリケーションを提供。

ケーブルリプレースメント

二つのRS-BT62を使用し、RS-232Cケーブルの置き換えをおこないます。通信に必要なBluetoothプロトコルスタックなどのソフトウェアはすべてRS-BT62に搭載。面倒な設定は不要。電源投入のみで接続・通信が可能です。既存システムに変更を加えることなく、シリアルシステムの無線化が可能です。





製品特徴

- RS-232C機器のデータをキーボードイベントとして取り込むことが可能。
- RS-232C機器から出力されるデータが、Windows、iOS、Android端末、Raspberry Pi OSで起動されている、表計算アプリのセルやテキストエディターのテキスト文字として入力されます。



シリアルデバイス用 Bluetooth アダプター (HID プロファイル)

RS-BT62HID

標準価格：¥27,800 (税別)

JAN：4949090600676

対応 OS
Android iOS
Windows 11、10
※32ビット・64ビット両対応

製品内容
RS-BT62HID 本体
AC アダプター

Raspberry Pi 対応

※本製品の設定変更をする場合は Windows 11/10 PCでの作業が必要です。



製品特徴

- D-SUB9pinメス型実装モデル。スクリューロック固定用金具添付。
- RS-232Cホスト側コネクタをBluetoothに変換可能。
- Bluetoothスレーブモードデバイスとの接続や、RS-BT62 (通常品) と接続可能。
- RS-BT62を組み合わせることにより、シリアルケーブルの無線化が可能となります。
- 専用アプリケーション (ダウンロード提供) を使用して、接続先Bluetoothアドレスを記憶することにより、電源を投入すると自動的にリンクが行われます。
- パトライト社製WD PRO動作確認済み。



シリアルデバイス用 Bluetooth アダプター (マスターモード)

RS-BT62M

標準価格：¥29,800 (税別)

JAN：4949090600690

※本製品の設定変更をする場合は Windows 11/10 PCでの作業が必要です。

製品内容
RS-BT62M 本体
AC アダプター
メスネジ金具×2



使用例 (RS-BT62M)

RS-BT62MはRS-232CのDTEポート(マスター側)を、Bluetoothによる無線通信に変換するアダプターです。
有線ケーブルでの接続を前提としたWD PROのシリアルポートにRS-BT62Mを装着することで無線化を実現。Bluetooth仕様のバーコードリーダーなどを接続することが可能となります。



読み取られたバーコードのデータがRS-BT62Mを介して「WD PRO」にと「AirGRID」を中継し、パソコンのCSVファイルにあるRS-232Cデータフィールドに格納されます。

※ACアダプターの接続が必要です。